



会員数 28人

北九州プロバスクラブ月報

つながり

No. 206

令和5年8月号

2023. 8. 22

会長就任挨拶

会長 松永光代



この度プロバスクラブの会長に就任いたしました松永光代です。私が16年前この会に入会した時は、会員の方が錚々たる経歴で、臆しました。が、4年半を過ぎると親睦委員長に任命され、その間はバスハイクを年2から3回と1泊旅行や海外旅行等実行してとても楽しみました。次は監事、会計に、これは数字に強い私には適所だと思いました。今回も会計ならば心配ないのですが、会長とは驚愕いたしました。前会長の後を引き継ぎこれから2年間プロバスクラブの会長を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。まずは何を置きましても、前会長のこの2年間のご尽力に心より感謝申し上げます。

クラブの現状は、決して環境が良い状態とは言えないかもしれません。この度の役員選考に関しても、「役員選考に関する細則」を理解できてない方の意見が飛び交い、今回の選考委員は大変な迷惑を受けました。今後このようなことがないように不平不満は、事が始まる前に規約改正等ご提案頂きたいと思います。このクラブは会員の皆様が、良い方向、方法に進むための活動の場だと思いますので、ご協力をお願いします。

20数年の歴史あるクラブを引き継ぎ、微力ながら会長として今後2年間、会の直面する環境の発展のために努力していく所存です。会長職は年々多忙を極めている面もありますが、ご要望にお答えするべく尽力致します。是非とも会員の皆様のお力添えをお願いいたしまして、簡単ですが会長就任挨拶とさせていただきます。

総会・例会報告

7月は定時総会で例会場のスチールハウスで食事の後開催、会員28人出席者は26人で総会が成立



したことを報告。議長に柴村会員を選び、事業報告や収支決算など1号～5号議案が原案通り承認され、最後に6号議案としてプロバスクラブ第16期役員案も事前配布の名簿通り承認された。会長に松永光代会員、副会長に古賀靖子会員が留任、幹事長は中山会員が再任されるなどかなり大幅な変更で会員減、高齢化など難しい時代のかじ取りを託すことになった。

議案審議終了後、新旧役員が前に立ち、松永新会長、植田前会長が挨拶した。引き続き、この1年会例会に皆勤した16名が表彰された。

また、総会に先立ち新会員の紹介があり、藤兼伊久子さんが「趣味は旅行」など自己紹介をした。

定時総会の後、例会に移り古賀靖子会員が「ありがとう BOX」の題目で卓話、プロバスの歴史に触れながらありがとう BOX への協力を呼び掛けた。(安高)

第16期北九州プロバスケットボールクラブ役員(敬称略)



写真左より

▽事務局次長 遠藤信子(新)▽事務局長 近藤弘子(再)▽監事 藤原智子(新) 眞鍋雄一(新)▽幹事長 中山正英(元)▽会長 松永光代(新)▽副会長・会計 古賀靖子(再)
▽例会委員長 松本忠(新)▽交流委員長 前期・吉田秀子(新) 後期・柴村美和子(新)
▽広報委員長 内藤康子(再)

皆勤賞のみなさん

遠藤信子、大川力、古賀靖子、植田佐世子、眞鍋雄一、松永光代、洞ミヨ子、中山正英、
安高洋一、住吉育代、柴村美和子、藤原智子、新城富美子、近藤哲生、大石照志、近藤弘子
(以上順不同、敬称略)

委員会報告

☆ 例会委員会

8月1日 10名出席

新年度第1回目の委員会を湖月堂で開催した。スタート時のメンバーは12名です。委員長には新任の松本忠が就任、副委員長には前委員長の石照志さんが選任されました。

就任にあたって松本から「会の再活性化と会員の増強が急務であり、それに応えられる例会を目指したい」と挨拶。会員全員の例会への思いを汲み上げるため、8月例会でアンケート調査を実施することになりました。ご協力をよろしくお願い致します。

委員会では、8月22日の例会・暑気払いの進行計画等を再確認、9月例会卓話は北九州生涯学習講師メンタルケア・アドバイザー赤松文雄氏に願うことが正式に決まりました。(松本)

☆ 広報委員会

8月4日 9名出席

12時30分からテトラホテル北九州で開催。新年度・新メンバーでの初会合である。委員長は内藤(再任)、副委員長には安高さんが選任された。昼食後「つながり9月号」の編集会議を行い、「新随筆」を10月号から「ミニ随筆」に戻すことになった。現在の印刷方法についても意見が交わされ、「つながり8月号」の校正も全員で行い、紙面づくりについても様々な意見が出され、今後も検討を続けて行くものである。

続いて会報「Link24号」の進捗状況で編集委員が10名となったこと、7月末締切りの随想原稿も揃い、この9月から10月初旬のピークに向けての、各委員への協力を呼びかけた。(内藤)

7月会員卓話

ありがとうBOXについて

副会長 古賀 靖子



プロバスクラブの歴史からスタート。義務として強制されない社会奉仕団体で、①地域社会に貢献すること ②非政治的、非宗教的、非営利的団体であることを目的に、イギリスで設立された団体。北九州クラブは北九州ロータリークラブ 50周年記念事業として、平成11年11月11日に全国で53番目に設立された。当初会員は39名で女性は4名だったそうである。全国のプロバスクラブの95%はロータリークラブが親であり、プロバスは子の関係にあるということが話された。

続いて、ありがとうBOXの話に移り、創立10周年前年の、平成20年11月に社会貢献活動の財源として、「ありがとうBOX」が誕生したという。それは1ヵ月間の諸々に感謝して、例会時にワンコイン(500円)を献金するというもの。歩んだ歴史には紆余曲折があったものの、今年で15年目を迎えて会員の皆さんには一定の定着をみせている。

主な献金先は、毎年の到津の森公園への植樹と、母子寡婦福祉会と若松児童ホームへ賛助金を贈呈している。また、東日本大震災の被災地に5年間に渡る寄付、熊本地震への義援金、ウクライナ戦禍への人道支援金、トルコ地震への義援金も実施してきている。

それ以外にも社会貢献活動として小倉北区のクリーン作戦への参加、医療センターでの写真展の実施等の紹介があり、ありがとうBOXへの協力を呼びかけた。

終わりに、我がクラブモットー ①楽しくなければプロバスではない ②みんなが主役、みんなが脇役 ③プロバスクラブに観客席はない、皆でクラブ盛り立てましょうと話を結ばれた。

献金や奉仕活動には会員全員で参加していかななくてはと思っている。(内藤)



新会員紹介 (令和5年7月入会)

ふじかねいくこ
藤兼伊玖子さん

周防学舎でプロバスクラブのことを知り、新しい世界を見たい、勉強したいと思い入会しました。紹介者は近藤哲生さん。趣味は旅行にガーデニング、ジム通いです。

ジムではエアロビクスやステップ等に中心に汗を流しています。皆さんのお仲間になり、クラブ活動に参加したいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

8月6日のクリーン・キャンペーンは、台風のため中止となりました。

同好会活動

🎧 歴史文学講座 🎧

火野葦平シリーズ第4回目の文学講座は7月25日、松本清張記念館で9名(うち2名はゲスト)が出席して開かれた。今回のテーマは火野葦平が1937年(昭和12年)に芥川賞に輝いた作品「糞尿譚」で、講師の坂口博先生は「無名の作家が地方から芥川賞を受賞したのは葦平が初めて」「以降、九州文学の同人らが次々に芥川賞候補となった」などと福岡県内の文壇史を振り返りながら説明。さらに、「芥川賞・直木賞選考の裏話」も話してくれた。

次回8月の文学講座の開催日は第5火曜日の29日なのでお間違えないように。(松本)



随筆 「日本人は素晴らしい…と思っていた」

植田佐世子

イタリアにかぶれて 40 年がたつ。留学中の友のところに遊びに行ったつもりが、翌日には声楽のレッスンを受ける羽目に。当時の大学は 7 月初旬から 9 月末まで夏休み！おかげさまで”夏休みにはミラノ”へが何年も続いた。まだまだ社会や職場で女性に対するハラスメントが普通にあった時代、自費とはいえ、夏になると渡伊する私に何もないはずはない。植田という個人を理解し、認めて欲しいと頑張った記憶がある。しかし、ローマで遭遇した事件(!)は“そんなの序の口！”と言えるほど衝撃的なものであった。

ローマを手早く制覇するには、バスツアーが最適と参加したが、何となくバスの中とガイドの視線が気になった。ツアー終盤、有名ホテルでのコーヒー・タイムの時「テーブルが足りないから待って」と中庭に連れて行かれ…「後で 迎えに来る」と放置され…バスは出発した。私、ネイティブ・アメリカンの親子、スリランカの夫婦、メキシコ人親子、韓国人夫婦を残して。

お気づきだろうか、つまり分類学上の有色人種たちである。

日本人は優秀であると信じていたのに。[どう努力しても変えられないこと]で受けた差別は、怒りを通り越して哀しみさえ覚えた。宗教差別や民族差別は戦争にもつながる。これを失くすには、やはり教育しかないと思った。



同好会活動

🎤 カラオケの会 🎸

7 月 21 日の 11 時より、浅野パティオでカラオケをしました。参加者は寂しく 4 名でした。一緒に食事をして、その後カラオケです。

参加者は少なかったのですが、歌が次々と飛び出して盛り上がりました。千昌夫、都はるみ、小柳ルミ子、石川さゆりなどの多彩な歌が飛び出して、楽しく有意義な時間が過ごせました。有難うございました。(安河内)

🎵 歌をうたう会 🎵

7 月 28 日 8 名の参加で、今月も 8 月の「暑気払い」の発表に向けての練習でした。3 曲それぞれテンポやパート毎の声を揃えること、しっかり声を出して歌うことそして、細かい音の取り方等の指導を受けながら、少しずつ曲ができていく楽しい時間でした。さらに曲の途中にソロを入れたり、パートの組み合わせを変えたりと、変化をつけて歌うことに。本番では、楽譜と首っ引きということの無いように、歌詞を憶えるようにいたしましょう。

(近藤弘子)

ありがとう BOX メッセージ 7 月分 (順不同、敬称略)

★全てに感謝(遠藤) ★暑さに負けず今をゆっくり楽しみましょう(大石) ★デイケア 7 年歩行も順調です(大川) ★旧役員の皆様 2 年間有難うございました(神田) ★新役員の皆様と頑張っていきましょう(古賀靖子) ★貢献活動のため頑張ります(古賀えみ子) ★(近藤弘子) ★災害の少ない北九州に感謝します(柴村) ★役員を無事つとめあげホットしています(住吉) ★健康第一(中山) ★確り食べて猛暑を乗り切りましょう(橋本) ★お疲れ様でした(藤原) ★最近では耳が通じない様になり、何もお役に立ちません(ごめんなさい)(洞) ★(松本) ★感謝(松永) ★(真鍋) ★(安高) ★(安河内) ★旧役員の皆様 2 年間有難うございました(山下静江) ★無事出席出来ました(吉田秀子) ★世界で猛暑が続いている(吉田信雄)



| | | |
|------|--------|-----------|
| 収支報告 | 6 月末残高 | 157,562 円 |
| | 残高証明書代 | △ 330 円 |
| | 7 月分 | 9,300 円 |
| | 7 月末残高 | 166,532 円 |